

感染症拡大防止のためのマニュアル(アドヴァンスドコース)

対策の基本

本マニュアルでは、原則的対策を示した上で、それらの各場面への応用例を記載しています。このうち、原則的対策は、新型コロナウイルス等感染のリスクを最小限とするための対策です。

【原則的対策】

1.体制

- 主任講師とクラスのインスペクターが会場の設営・撤収を行うこと。
- 主任講師を感染症対策責任者とする。主任講師が不在の場合は、指名を受けたインスペクターが代理で感染症対策責任者となる。感染症対策責任者は、当該マニュアル及びルールの確実な実行を統括する。
- 感染症対策責任者は、マニュアル及びルールを周知し、受講生は当該マニュアル及びルールを順守する。

2.健康管理

- 講師およびスタッフ・受講生は、1週間以内に新型コロナウイルス感染症を疑わせる症状(発熱、咳、咽頭痛、息切れ、倦怠感、下痢、味覚・嗅覚異常など)があった場合には申告をして、授業は欠席すること。
- 講師およびスタッフ・受講生は、毎日検温をして、発熱がないことを確認する。
- 講師およびスタッフ・受講生は、検温などで体調不良が明らかな場合には、授業を欠席し、受診等必要な措置をとる。

3.作業管理

- 基本的に2メートル以上の距離を保ち、授業を行う。2メートルを超えて接近する場合は、必ず同意を得る。
- 2メートルの距離が確保できない場合には、フェイスシールドやアクリル板を利用する。ただし、フェイスシールドやアクリル板は1日に1回以上消毒する。
- 講師およびスタッフ・受講生は、歌唱時以外必ずマスク(不織布マスク等)またはフェイスシールドを着用する。ただし、許可された場合はその限りでない。
- 消毒用アルコールを入口付近に設置し、部屋の出入りの際、飲水前に手指消毒を実施する。
- 共用で使用するものを可能な限り減らす。

4.設備及び環境

- 床に物を置かない、極カイスの上など飛沫を避ける場所に置く。
- 休憩等のタイミングで、少なくとも1時間ごとにスタジオの換気を行う。
- その他芸能花伝舎の施設方針に準じて実施する。

【具体的施策】

1.入館時、設営(感染症対策責任者、インスペクター)

- 感染症対策責任者もしくはインスペクターは授業開始30分前には、スタジオの鍵を借り、使用する備品等の準備を行う。(貸出・返却時に、事務局に連絡をする。)
- 入室前に、花伝舎備え付けのアルコール消毒で手指消毒を行う。
- 質問票その他消毒セットを二期会倉庫より、取り出し各位置にセッティングする。
- 白手袋やポリ手袋を着用して、準備を行う。
- 着席位置については、受講生同士の距離が2メートル以上を確保できるように配置する、確保できない場合には、フェイスシールドやアクリル板を使用する。

2.授業中、休憩時

- 歌唱時以外は、マスクを着用すること。

- 飲食は蓋つきの飲み物だけ可とする。
- 不必要な会話を控える。
- 体調不良などの場合は、遠慮なく退出をする。

3.消毒作業(適宜こまめに)

消毒準備 <作業前>

- 消毒作業に必要な物品を準備します。
- 消毒作業をする際は、マスクと手袋(使い捨てできるもの)を着用してください。

【感染対策物品について】

- マスク、ゴム手袋(使い捨てできるもの)、除菌噴霧器、ペーパータオル、ゴミ袋など。
- 除菌噴霧器は、電解水ですのでほとんどの物品噴霧可能ですが、必ず周囲の安全を確認してから噴霧をしてください。

作業中の注意事項 <作業中>

- ★作業開始から終了後の手洗いが終わるまで、手で目鼻口を触れないように注意します。
- 窓を開けて、十分に換気を行います。
- 作業中は、作業者周辺には近づかないなど、注意をします。
- 目視できる汚れがある時は、事前に拭き取ります。
- 作業はエリアの奥から入り口に向かって順次実施するなど、拭き取り(清拭)漏れに注意します。
- 拭き取り(清拭)は右から左など、一定方向におこないます。
- ペーパータオルを使用する際は、こまめに面を変えて使い、適宜、新しいものに交換してください。

【行動範囲にある机上、備品等の消毒】

拭き取り作業は行動範囲から、手を触れた可能性、飛沫のある場所を対象とし、隙間なく実施してください。

【机上・備品】

- 除菌噴霧器一定方向に吹きつけます。
- 使用した備品、及び飛沫(唾液など)が付着する可能性のある部分に噴霧します。机の上、取手、ペンや文具類も噴霧します。紙類は消毒することができません。

【床・天井】

- 床は、手が触れる可能性がなければ、基本的に消毒は不要です。
- 使用者が触れたか、触れた可能性が高い場所や什器等、本人の動線が対象となります。
- 想定される範囲

各種スイッチ、ドアノブ等。感染者の動線上は、飛沫が飛んでいる可能性や手が触れた可能性がある場所を拭き取ります。

消毒終了後の注意事項<終了後>

- 作業中に着用した手袋、使用したペーパータオルなどは、作業終了後速やかにゴミ袋に収納し、袋口をしっかり結びます。(中身を第三者が触れることがないようにしてください。)
- マスク、ゴム手袋を取り外すときは、外側(汚染された面)が自分の手や指、体などに触れないよう、慎重に取り外します。★取り外した後、石鹸で手洗い、もしくは消毒用アルコールで手指消毒を行ってください。
- 除菌噴霧液、手指消毒用アルコールの補充は1カ月に1回、事務局が花伝舎の立会いの際に補充いたします。充電はレッスン中をお願いいたします。
- 作業が完了したスペースは通常通りの使用が可能となります。

4.終了時

- 上記の消毒作業を実施する。
- 感染症対策責任者もしくはインスペクターが、レッスンに使用した備品等の消毒と収納が確実にに行われていることを確認する。(貸出・返却時に、事務局に連絡をする。)

※その他、受講生の欠席・早退、授業中に何かあった場合は、必ず事務局に報告をする